

【講座名】

新聞小説家・夏目漱石の誕生

— 漱石はなぜ「新聞屋」になったのか —

【講座の紹介】



社告

昨日の紙上にて新入社の文藝者あるべき事を御披露致し、誰れぞと尋ね少からず、本人目下旅行中にて未だ執筆の場合に至らず、聞彼のご申上置ひ處、強ひてお尋ねに付きては名前をも申上べくい

新入社は夏目漱石君

に、斯人が如何なる文藝者にて如何なる才藻詞品を有し、やは本社が之を知るより以前に疾く御承知の方もある可く、又御存知なき方は最早やがて紙上に於てお知合と成られ、此際別段の鼓吹は仕らず、敬白

明治40年4月、夏目漱石は誰もが羨む大学の職を辞して朝日新聞社に入社し、世間を驚かせました。本講座では、漱石がこの決断に至る軌跡を、日露戦争後の社会状況や、漱石の書簡などを資料として、様々な角度から検討していきます。「穴籠り」していた漱石が、社会に対して「勝負」することを決めた明治39年の創作活動を辿りながら、新聞小説家・漱石の誕生の真相に迫っていきたいと思います。

開催日	時間	講座内容
9/13(木)	10:00~12:00	朝日新聞社入社時の漱石の言説を読む
		『坊っちゃん』(39年3月)執筆の動機となった出来事
		「真面目」な小説・島崎藤村『破戒』の与えた衝撃
		明治39年秋に書かれた漱石の書簡を読む
		京都帝国大学へ行かない理由—狩野亨吉宛書簡
		『坊っちゃん』『草枕』から『二百十日』『野分』への軌跡

開講日：平成30年9月13日(木)

募集期間：6月1日(金)～8月30日(木) 期間外申込無効

時間：10:00～12:00

受講料：無料

募集人数：20名(一般) 抽選

開催場所：豊田産業文化センター2階(とよた男女共同参画センター 情報交換室)

講師：山口比砂(一般学科 准教授)

後援・共催：豊田市教育委員会